



子ども・家族の貧困と構造的な不平等

— 子ども時代の貧困に介入する社会的養護の研究 —

人文社会



Keywords

子どもの権利、貧困・社会的排除、社会的養護



谷口 由希子 准教授

所属

人間文化研究科 社会と教育

専門分野

社会福祉学、児童福祉論、社会的養護、貧困

所属学会

福祉社会学会、日本社会福祉学会、日本子ども虐待防止学会など

HP

<https://nrd.nagoya-cu.ac.jp/profile/ja.bfe8d7a32d5c0f07.html>



研究概要

なぜ、貧困が再生産するのか。貧困を生み出す社会構造と貧困・生活困難の状態にある子どもや家族への介入に関心があり、児童養護施設をはじめ社会的養護を中心に社会福祉制度や援助実践、貧困の継承に関する研究を行っています。

施設等で暮らす子どもたちや措置解除後の若者たちの生活と語りから主体形成や権利保障の過程を分析し、何ゆえに貧困や社会的排除から脱け出すことが困難なのかを考えています。

学会・社会貢献活動

- 日本社会福祉学会 理事
- 日本社会福祉学会中部地域ブロック 常任幹事
- 全国保育士養成協議会 委員
- 名古屋市子どもの権利擁護委員
- なごや子ども・子育て支援協議会 委員
- 名古屋市子ども・若者支援地域協議会代表者会議 委員 (兼部会長職務代理)
- 桑名市子ども・子育て会議 委員 (副委員長)

今後の展望

児童養護施設や里親等の援助実践者、保育士、教師、地域住民、企業をはじめ市民のみならずと協働し、貧困・社会的排除にある子どもを支える社会的な仕組みを構想したいと考えています。

同時に、貧困を生み出す社会構造を批判的に捉え、子ども・家庭福祉に関わる制度や政策を研究しています。

著書



(単著)『児童養護施設の子どもの生活過程 -子どもたちはなぜ排除状態を脱け出せないのか-』
2011年明石書店
(第14回損保ジャパン記念財団賞受賞)

ようこそ大学へ！プロジェクト —施設等への子どもたちへの学習支援—



毎年8月に名古屋市と連携して施設等で暮らす子どもたちの大学体験プロジェクトを行っています

問い合わせ

産学官共創イノベーションセンター
(桜山キャンパス本部棟2階/事務局学術課内)
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
(名古屋市営地下鉄桜通線「桜山」駅③出口すぐ)
☎ 052-853-8309 FAX 052-841-0261
✉ ncu-innovation@sec.nagoya-cu.ac.jp



研究者からのメッセージ

「子ども期」という固有の発達段階にある子どもの権利保障について考え続けることが、かつて子どもだった私たち大人、そして社会に課せられた役割だと考えています。